

filaments were thinner in the tumor than those in cartilage; 2) electron-dense amorphous substances in the matrix of the tumor were found in larger masses than in cartilage; 3) in the tumor, most of the cartilaginous cells survived at the provisional calcification zone and differentiated into osteoblasts.

According to both histochemical and electronmicroscopical

criteria, this tumor is very close in nature to the enchondral ossification process of hyaline cartilage. As suggested by the gross and histological observations, it could be also presumed from this study that this type of tumor should be an osteochondroma like the same tumor originating from the skeleton.



日本脳神経外科学会事務局ニュース

第 8 回日本脳神経外科学会認定医認定試験

第 8 回日本脳神経外科学会認定医認定試験は、去る 7 月 28・29 日の両日に東京で行なわれた。昭和 49 年度の受験者は 103 名、合格者は 59 名で、合格率は 57 % である。これで我国の脳神経外科認定医の総数は 578 名（現存 574 名、死亡 4 名）となった。

なお、認定医認定委員会では、さきに、インターン制度の廃止に伴う臨時措置として、本年度に限り、明年 1-2 月頃に認定医認定試験を行うむね公表していたが、この度、試験日を昭和 50 年 2 月 8-11 日とすることを内定した。

第 8 回認定医試験問題（昭和 49 年）

I. 水頭症に対する髄液吻合術（SHUNTING OPERATION）について

1. 現在までに報告された主な術式名を列挙せよ。
2. 最も多く経験した術式 1 つについて、その要点（注意すべき点をも含む）を記せ。
3. 2. の手術のさい最も多く使用した吻合管

（SHUNTING SYSTEM）の名称と構造の概略を記せ。

4. 2. に記した術式による合併症のうち、主なもの 2 つをあげ、その治療法を簡単に説明せよ。

II. 急性重症頭部外傷患者の来院時に救急手術を決意する根拠となる主要検査所見を手術方法と対比して述べよ。

III. 脳動脈瘤の破裂に関して次の問いに答えなさい。

1. 続発的に頭蓋内で起り得る諸変化又は現象について（列記 但し、できればこれらの変化を相互関係的に図示すること）。
2. 主な変化について、それぞれの診断的根拠と現行又は試みられている治療対策（動脈瘤自身の処置は除く）。

IV. 側脳室髄膜腫について次の各項を説明せよ。

1. 発生部位
2. 症状
3. 補助診断法 3 つ
4. 手術的療法に際し、注意すべき点

第 8 回日本脳神経外科学会認定医認定試験合格者名一覧（数字は認定番号）

522 天野 恵市	537 梶原 収功	552 野田 哲	567 進藤健次郎
523 新垣 良浩	538 加古 誠	553 能勢 忠男	568 島 健
524 有森 稔	539 賀来 素之	554 前川 潔	569 住江 寛俊
525 浅井 堯彦	540 金井 信博	555 松井 孝嘉	570 高原 淑夫
526 藤田 勝三	541 神野 哲夫	556 水川 典彦	571 高橋慎一郎
527 福島 義治	542 喜種 善典	557 織田 祥史	572 埜本 勝司
528 儀藤 洋治	543 木戸 拓平	558 大内 忠雄	573 富田 年郎
529 濱田 享	544 小島 精	559 小沼 武英	574 上村 孝臣
530 原田 幹雄	545 小山 素麿	560 大井 美行	575 脇坂信一郎
531 林 幸平	546 久保 哲	561 小澤 正敏	576 渡辺 博
532 林 龍男	547 栗本 匡久	562 坂本 哲也	577 山口 和郎
533 堀 正治	548 龍 浩志	563 佐々木 潮	578 米川 泰弘
534 井上 久司	549 鍋島 祥男	564 佐藤 醇	579 吉田 護
535 石黒 修三	550 中田 義隆	565 仙頭 茂	580 吉水 信裕
536 石川純一郎	551 西居 俊彌	566 柴田 尚武	